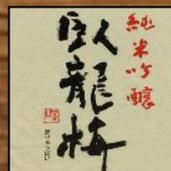


『臥龍梅』 歳便り

平成二十四年神無月



拝啓 超大型の台風17号が日本列島を縦断して行きましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

今月もご報告することが盛りだくさんです。10月1日、岩手から菅原杜氏と蔵人が元気な姿で来場し、麴屋の神谷君と一緒に蔵入りしました。頭さんが合流するのは都合でもう少し先になりますが、いよいよ平成24BYの酒造りの開始です。帰省する蔵人を清水駅で見送ったのがついこの間のような気がします。今年は新人の八重樫君が加わって人員も増員し、蔵人の志気も十分です。必ずやいちだんと美味しいお酒を造ってくれるものと存じます。皆様ご期待ください。同じ10月1日、沼津リバーサイドホテルで恒例の**静岡県地酒まつり**が開催されました。静岡県の蔵元、約30社が一同に会して開かれるこのイベントも今年で第25回となります。最近の入場料を安く抑え、イープラスでチケットを販売するなどの努力の甲斐あってか、年々若いお客様が増えております。臥龍梅の人気は相変わらず上々で、金賞受賞の大吟醸、純米大吟醸の袋吊等、用意したお酒は飛ぶような売れ行きでした。



この度、臥龍梅の熱烈な愛好家の皆様の声にお応えして**臥龍梅応援団**を設立することにいたしました。‘自分が旨いと思える酒を造ろう’という一心で始めた臥龍梅ですが、いろいろなお酒の会でお会いする方々に“この酒好きだよ” “臥龍梅いいね” と言うお声をいただくと、共感できる友を得たように感じられ、どんな言葉よりも嬉しく思います。酒造りをやってきて良かったと思う瞬間です。臥龍梅を愛好してくださる同じ思いの皆さんが集まって楽しい人の輪を広げられたらいいというのが応援団設立の主旨です。金銭的な負担はっさいございません。入会資格はただひとつ、臥龍梅の愛好家という点だけです。どうぞお気軽に入会お申込みください。応援団員の特典といたしましては、①**臥龍梅応援団員之証**を進呈する②**臥龍梅を愉しむ会**等のイベントを優先的にご案内する③蔵の近況や商品の情報をいち早くお届けする④お会いするたびに社長が握手する(これは冗談)等です。お申し込みは **FAX 054-366-0380** または **メール sanwa@garyubai.com** または **郵送(〒424-0038 静岡市清水区西久保 501-10)** または **TEL 054-366-0839** で三和酒造(株)までご連絡ください。その際、①お名前②ご住所③電話番号④FAX番号⑤メールアドレスをご登録いただきます。さて、長らく東京地区の営業担当として働いてきた日下部君が、この度弊社を離れてひとり立ちすることになりました。もともとサラリーマンになるというより酒業界で一旗挙げることが彼の目標でしたので、いわば新しい門出です。どうか皆さんあたたかく応援してあげてください。



今月は、短稈渡船 50%の吟醸酒、五百万石 55%の純米吟醸の**ひやおろし**に加えて山田錦 55%の純米吟醸の**ひやおろし**をご案内いたします。秋上がりした臥龍梅を一杯やりながら観月会という趣向は如何ですか。

純米大吟醸の雄町、純米吟醸の誉富士、超辛口、吟醸 55 等、多くの商品が完売してご不自由をおかけしております。11月中旬から順次新酒をご案内してゆく予定ですのでこれらの商品についてはどうか今しばらくお待ち願います。

深まりゆく秋、皆様ご自愛ご専一に。

平成24年10月吉日

敬具

鈴木 克昌